

開催中

人と防災未来センター 資料室企画展

## 災害時の感染症の拡大を防ぐ ～過去からの学び～

26年前の阪神・淡路大震災の時、避難所などでインフルエンザが流行しました。当時の感染状況や、実施された対策について、震災資料・関連図書とともに振り返ります。

開催期間：2020年12月15日（火）～2021年5月30日（日）  
場所：人と防災未来センター西館5階 資料室（無料エリア）



コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方に向けて、西館の展示物を見学いただける3Dビュー＆VR映像を無料公開しております。ぜひご利用ください。

<https://www.dri.ne.jp>

## 資料室の感染防止対策について

資料室は、感染防止対策をとりながら開室しております。  
資料室利用者の皆様には、引き続き、感染防止のご協力をお願いいたします。

### 滞在時間の短縮にご協力をお願いします

- 閲覧する二次資料は事前に検索システムをご利用下さい。
- 一次資料の閲覧は事前（3日前まで）に申請を行って下さい。
- レファレンス・調べ物は、窓口以外（電話・メール・FAX）をご利用ください。



### 閲覧席の数を減らしています

- 利用者同士の距離を一定程度保つため、閲覧席の間隔を広げています。
- 利用者間の飛沫感染を防ぐため、私的な会話はお控え下さい。



▲閲覧席には、パーティションを設置しています。

### 共用機器類の利用停止 (または一部利用停止)

- 不特定多数の方が使用する機器の利用を制限しています。

### 最新の情報は HP・Facebookで



▲HP ▲Facebook

### 震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいのかな？」とおっしゃる方もなかにはいらっしゃいます。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、**震災の出来事を伝えるために活用したい**とお考えの方など、悩んだ際には、**ぜひ一度、資料室までご相談ください。**

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
DRI 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階  
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062  
URL <http://www.dri.ne.jp>  
開室時間 9:30～17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)  
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)  
12月29日から1月3日



資料室は無料でご利用いただけます



阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター  
DRI The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

# 資料室ニュース

Vol. 74  
2021年  
3月発行

## 資料の閲覧及び貸出について

- 一次資料 … 阪神・淡路大震災の被災状況を語るものや、被災地の復旧・復興過程において使用・作成されたもの 【例】モノ資料や紙、写真、映像・音声資料
- 二次資料 … 阪神・淡路大震災およびその他の災害・防災関連の刊行物 【例】図書・DVDなど



### 一次資料(震災の実物資料)の閲覧

パソコンやスマートフォンなどの端末から、人と防災未来センター情報検索システムで閲覧したい資料を検索し、「資料閲覧申請書」をご提出いただくと、資料室内で実物資料を閲覧することができます。コピーや撮影による複写も可能ですが、別途「複写許可申請書」の提出が必要です。

なお、一次資料の閲覧は、**事前申請(予約)**が必要です。一次資料の閲覧を希望される方は、必ず事前に、資料室までご連絡ください。



- ・上記の申請書類は当センターのホームページ上でダウンロードができます。
- ・事前申請(予約)は、閲覧希望日の**3日前**までに、資料室までご連絡ください。
- ・申請については、電話やFAX、当センターのホームページ上のお問い合わせフォームからご連絡ください。(電話番号やFAX番号は資料室ニュース最終ページをご覧ください。)



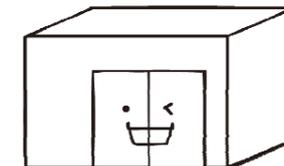
### 二次資料(震災関連のDVD・ビデオ)の貸出

営利を目的としない防災学習などへの使用に限り、著作権の許諾を得ているDVD・ビデオの貸出を行っています。貸出期間は、映像資料を受け取った日から**1週間**で、貸出本数は**2本**までです。なお、貸出については「**映像資料貸出許可申請書**」を提出していただく必要があります。



- ・貸出は無料です。なお、郵送の場合は貸出・返却ともに送料をご負担いただきます。
- ・貸出許可申請書は、資料室に直接お持ちいただくか、FAXまたは、郵便でお送りください。
- ・貸出DVDリスト、貸出許可申請書はホームページ上に掲載しておりますので、ダウンロードしてご利用ください。

ご不明な点がございましたら、資料室までご相談ください。



# 新着資料紹介

## 「焼けた柿の木の根」

中村専一氏寄贈資料  
資料番号 537-001001

中村さんは震災後まちづくりに尽力され、新長田で語り部としても活動されてきました。

近所の喫茶店に植えてあった柿の木が、震災時に焼けてしまい、木の根だけが残り、その後、違う場所へ移植したところ、新芽を出したそうです。まさに震災時の長田を知る「生き証人」と言えるのではないのでしょうか。

その他にも、自宅が全焼した際に見つけ出した焼けたグラスやコイン、まちづくりに関する資料等を多数ご寄贈いただきました。



## いきいき家族子育てカルタ絵本

守田連雲子氏寄贈資料  
資料番号 538-001001

子育てグループの播磨町地域の子育てに寄り添う会の守田さんから資料の寄贈を受けました。

震災前に、カルタ絵本の原画作成や、印刷のための写真撮影も終了していましたが、震災で発行を依頼していた印刷会社が押しつぶされてしまいました。しかし、撮影していた原画フィルムは奇跡的に残っていて、その年の7月にカルタ絵本が完成し、図書館や地域のお母さんたちにも配られました。

この「いきいき家族子育てカルタ絵本」は、カード式なので、絵本やカルタなど、様々な利用ができるよう工夫されたものです。カルタ絵本は、現役の子育てグループと卒業生合わせて130組が文と絵を考え、播磨町教育委員会が発行しています。



## 震災資料を保存する

今年の1月17日で、震災から26年が経過しました。人と防災未来センターが所蔵する震災資料の多くも、同じだけ年数を重ねています。経年や虫害による劣化を防ぎ、震災資料をできる限り良い状態で後世に伝えていくため、資料室では収蔵庫の温湿度調整といった保存環境の管理だけでなく「収蔵スペースの燻蒸」「新聞資料の脱酸処理」など様々な取り組みを行っています。

## 3階収蔵スペースの燻蒸

西館3階展示室の金網の奥は、資料を収蔵しておくスペースになっています。展示を見学する際に、資料がどのように保存されているのかを見てもらえるという長所がありますが、害虫が侵入しやすい場所でもあるため、一年に一回殺虫燻蒸処理を行っています。

殺虫燻蒸処理を行うことで、一度に害虫を全滅に近い状態にできるので、その後しばらくの間害虫が発生する確率を低くすることができます。殺虫処理に使用するピレストロイド系殺虫剤は、昆虫類には高い殺虫・忌避効果がありますが、光や温度で分解されるため、人体や文化財の材質への影響は非常に低いとされています。



▲収蔵スペースに殺虫剤を散布している様子。散布後、展示室は4時間密封状態を維持し、隙間に隠れた害虫を駆除します。

## 総合的有害生物管理 (IPM)

博物館や美術館が資料を害虫から守る際、人に対する安全、資料への影響のほか、地球環境の保全にも注意しなければなりません。従来の資料保存では、害虫が発生した場合に臭化メチルを含む薬品を使って殺虫処理が行われてきました。しかし、臭化メチルはオゾン層を破壊するため現在では使用が禁止されています。現在の博物館の資料保存管理では、資料への被害が起きてから対応するのではなく、予防することが重要視されています。このような考え方を、総合的有害生物管理 (Integrated Pest Management) と言います。



## 新聞資料の脱酸性化処理

新聞や雑誌などの長期間の保存を目的としない印刷物には、酸性紙が使用されていることがあります。酸性紙は酸性物質の影響によって、徐々に脆くなり、やがて崩壊してしまいます。人と防災未来センター資料室では、阪神・淡路大震災当時の新聞の原紙を保存しています。これらの資料を長期的に保存していくために、脱酸性化処理を毎年行っています。脱酸性化処理とは、紙の中に発生した酸を中和して、長期にわたって紙の内部をアルカリ性に維持する作業のことです。

新聞紙の劣化が進んでしまう前に、資料の保存処理を行うことが大切なのです。



▲酸化マグネシウムの微粒子を分散させた特殊な溶液に資料を浸して、脱酸性化処理を行っている様子